

4月9日

全対象者分「9月までに」

ワクチン供給 河野担当相見通し

新型コロナウイルスのワクチンについて、政府内の調整を担う河野太郎行政改革相は18日のフジテレビの報道番組で、9月末までに製薬会社からすべての接種対象者分（16歳以上）が供給される見通しになったと

の認識を示した。政府関係者によると、すでに接種が始まっている米製薬大手・ファイザーに加えて、承認申請中の英製薬大手アストラゼネカと米バイオ企業モデルナのワクチンも想定している。

番組で河野氏は、「9月末までに日本が入手できる全てのワクチンで、今の接種対象者に接種を完了でき追加供給される数量や自治体への配達の時期は明らかにならなかった。ワクチン供給を遅つてのうえで、菅義偉首相は、訪米中だった首相が17

経営責任者（CEO）との17日の電話協議に言及し、「それに足りる分だけ、ファイサー社にも追加で供給をお願いした」と説明した。

協議そのものについて

は「実質的に合意がなされ

ている。細かいスケジュールの調整は、こちらでやる

とも語った。ただ、実際に

追加供給されることも含め、日

本政府と緊密に連携してい

きたいと応じた。

これまで政府は同社と年

内に約7200万人分の供

給を受ける契約を締結。こ

のうち、6月末までに約5

千万人分を各都道府県に配

送する予定となっている。

番組で河野氏は、会社員など一般向けのワクチン接種を想定し、「ワクチン休暇については経済界と少し

じ、これに対しブーラ氏は

追加供給に向けた協議を迅

速に進めることも含め、日

本政府と緊密に連携してい

きたいと応じた。

これまで政府は同社と年

内に約7200万人分の供

給を受ける契約を締結。こ

のうち、6月末までに約5

千万人分を各都道府県に配

（坂本純也）